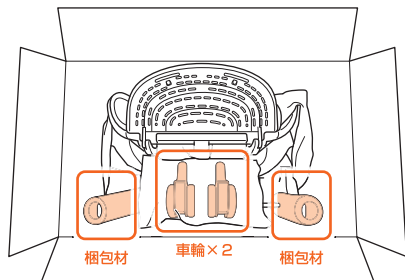


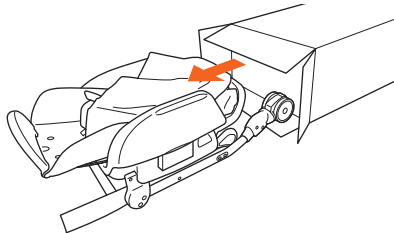
製品をご使用になる前に、車輪を取り付けてください。

※床面が傷つくおそれがありますので、下記手順に沿って作業を行ってください。

- 1** まず、車輪を箱から取り出しておきます。
梱包材はつけたままにしてください。

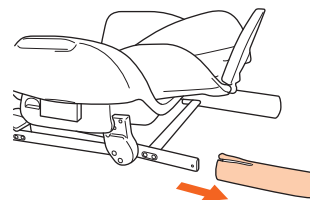


- 2** ラック上側が天面に来るように箱を倒します。
その後、箱から製品をゆっくりと取り出します。



- 3** 車輪を取り付けるため、梱包材をゆっくりと抜き取ります。

組立作業中に床面を傷つけるおそれがあるため、
車輪の取り付け作業は一輪ずつ行ってください。



- 4** 下記イラストのように、車輪を取り付けます。

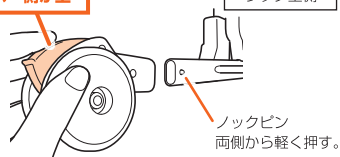
- ① 車輪のストッパーがラック上側にくるように車輪を持つ。
- ② ノックピンを両側から軽く押しながら、カチッと音がするまで車輪を差し込む。
- ③ 車輪を引っ張り、はずれないことを確認する。

注意

車輪には上下の指定があります。(ストッパー側が上)
車輪には左右の指定はありません。
パイプの端部でケガをしないよう、ご注意ください。

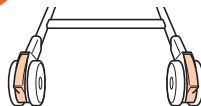
ストッパー側が上

ラック上側

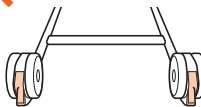


正しい取り付けイメージ

○ ストッパーが上側にある



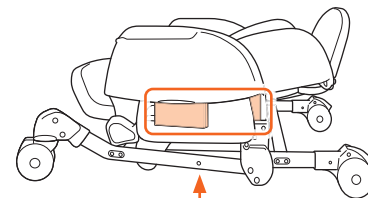
✕ ストッパーが床面に触れている



ワイド

車輪を付け間違えた際は、取扱説明書の「16.車輪を付け間違えた際の対処法」をご覧ください。

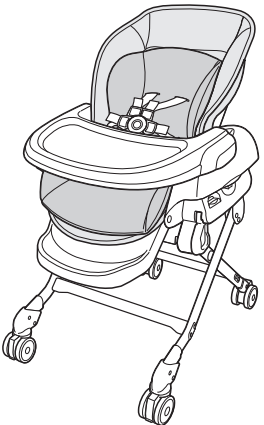
- 5** 本体両側面と底面の緩衝材を取りはずして使用します。



※本体底面についた緩衝材(段ボール)が残っていないことを確認してください。

品質保証書付

本製品は一般家庭用として開発されたものです。業務用として使用した際の故障などについては、修理サービスが行えない場合があります。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
■ 本書は大切に保管してください。
■ 取りはずしえる部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。
■ 本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もお渡ししておください。

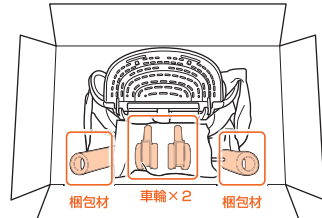


1. ご使用の前に

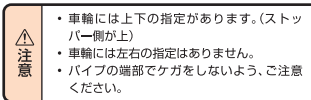
本製品は、室内におけるお子さま用の簡易ベッドや、いすとして使用されることを目的としており、総称をラックとします。

車輪の取り付けかた

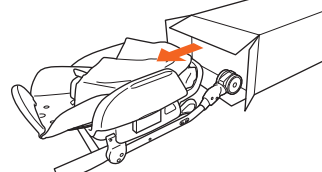
1 まず、車輪を箱から取り出しておく。
梱包材はついたらまにする。



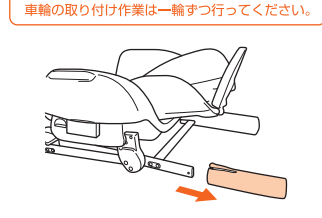
4 下記イラストのように、車輪を取り付ける。
①車輪のストッパーがラック上側にくるように車輪を持つ。
②ノックピンを両側から軽く押しながら、カチッと音がするまで車輪を嵌め込む。
③車輪を引っぱり、はずれないことを確認する。



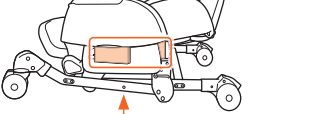
2 ラックと側面が天面に来るように箱を開す。
その後、箱から車輪をゆっくりと取り出す。



3 車輪を取り付けるため、梱包材をゆっくりと抜き取る。
組立作業中に床面を傷つけないため、車輪の取り付け作業は一輪ずつ行ってください。



5 本体両側面と底面の梱包材を取りはすして使用する。
※本体底面についた梱包材（発泡ボール）が残っていないことを確認してください。



望ましい連続使用時間

簡易ベッドとして60分間/スウィング15分間 ※1日の合計使用時間：3～4時間

使用できるお子さまの年齢

新生児～48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
新生児とは、この取扱説明書では、体重2.5kg以上で胎動数37週以上のお子さまとしています。

簡易ベッドとして使用するときは

新生児～5・6ヵ月ころまで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は8kg、身長70cmまで）
※スウィングをするときも同じです。

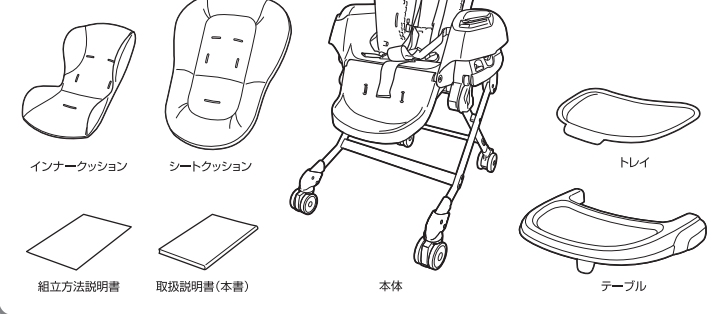
いすとして使用するときは

5・6ヵ月（腰がすわったころ）から48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
※リクライニング角度③のみ、2・3ヵ月からご使用いただけます。

開封されましたら、各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

- 本体
- テーブル
- トレイ
- シートクッション
- インナークッション
- 取扱説明書（本書）
- 組立方法説明書



- 組立する前に、裏表紙の「品質保証書」に次の項目を記入してください。
製品名/ロットNo.（本書背面にあります。）
- お客様の名前/ご住所/電話番号
- 販売店名

2. 使いかたの目安

本製品は、簡易ベッドや、いすとしてご使用いただけます。お子さまの月齢にあわせて下記の使用条件をお守りください。

月齢の目安	新生児～2・3ヵ月	2・3ヵ月～5・6ヵ月	5・6ヵ月～18ヵ月	18ヵ月～48ヵ月
発育状態の目安	寝がすわるまで	寝がすわるまで	寝がすわったころ	1人でおむわりができた後
シートベルト	肩ベルト 必ず使用	肩ベルト 必ず使用	肩ベルト 必ず使用	任意
腰/股ベルト	必ず使用	必ず使用	必ず使用	必ず使用
リクライニング角度	①	①②	③	③④⑤
	簡易ベッド			いす
	スウィング可			スウィング不可
リクライニング・スウィングの使用可否/使用法				

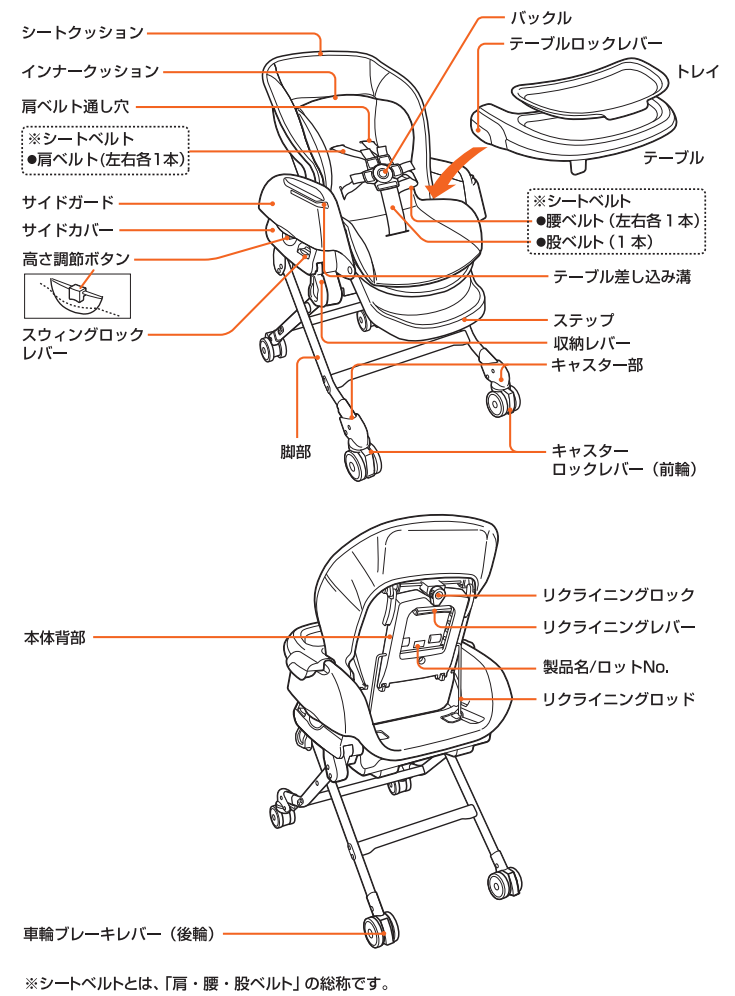
3. 安全にご使用いただくために

●製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者のかたが重大な損傷を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
●ここに説明した注意事項は、取り扱いを誤ると、保護者およびお子さまへの危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」の2つに区分して示しております。
安全のため必ずお守りください。
●本来の使用目的以外のご使用はしないでください。

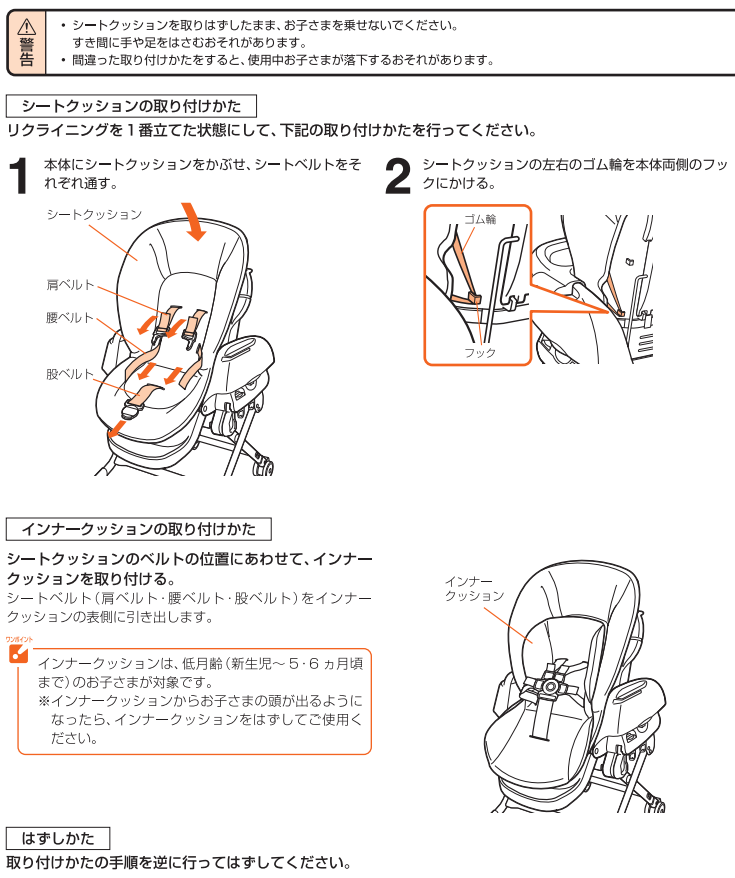
表示	表示の内容
▲警告	損った取り扱いをすると、死または重傷を負う可能性があります。
▲注意	損った取り扱いをすると、傷害を負ったり、物的損害の可能性がります。
▲補足説明	警告/注意をうながす内容があることを告げる禁止行為であることを告げるものです。

▲警告	▲注意
取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。 ●使用できるお子さまの年齢：新生児～48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg） 簡易ベッドとして使用するときは（リクライニング角度1③） 新生児～5・6ヵ月ころまで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は8kg、身長70cmまで） ※スウィングをするときも同じです。 ●いすとしてのみ使用するときは（リクライニング角度③④⑤） 5・6ヵ月（腰がすわったころ）から48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg） ※リクライニング角度③のみ、2・3ヵ月からご使用いただけます。 ●必ずシートベルトを使用してください。新生児～5・6ヵ月ころまで、肩ベルトも使用してください。なお、18ヵ月未満のお子さまは必ず肩ベルトも使用してください。 ●簡易ベッドとして使用するときは、スウィングをするときも同じです。 ●必ず4つの車輪が正しく装着されていることを確認の上ご使用ください。 ●お子さまの手の届くところに製品を放置しないでください。また、お子さまが自分で使用させないでください。	思わぬ事故につながるおそれがあります。 ●必ず保護者の目の届くところで正しく使用ください。また、絶対にお子さまを寝かせたま設置しないでください。 ●お子さまは思わぬ動作をします。シートベルトを締めたり、肩ベルトを締めたり、目を見失うおそれがあります。目を離す十分注意してください。 ●ラックに置かれたり、大人が荷重をかけるおそれがあります。 ●一時のお預けなどには使用できませんが、夜間保育などの長時間預けさせるベッドとして使用しないでください。 ●一時の預けなどには使用できませんが、夜間保育などの長時間預けさせるベッドとして使用しないでください。

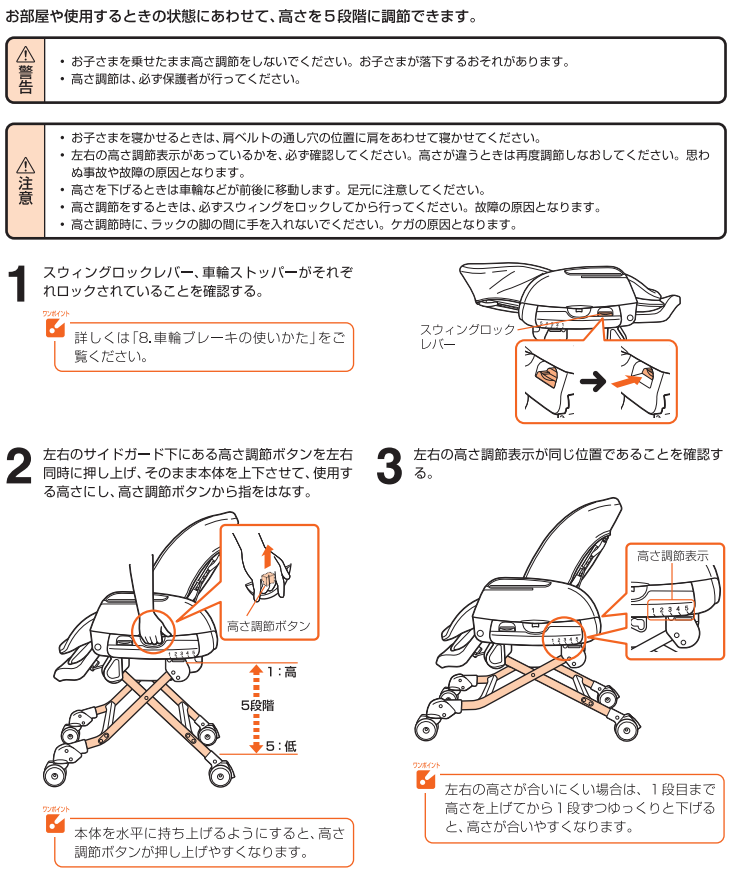
4. 各部のなまえ



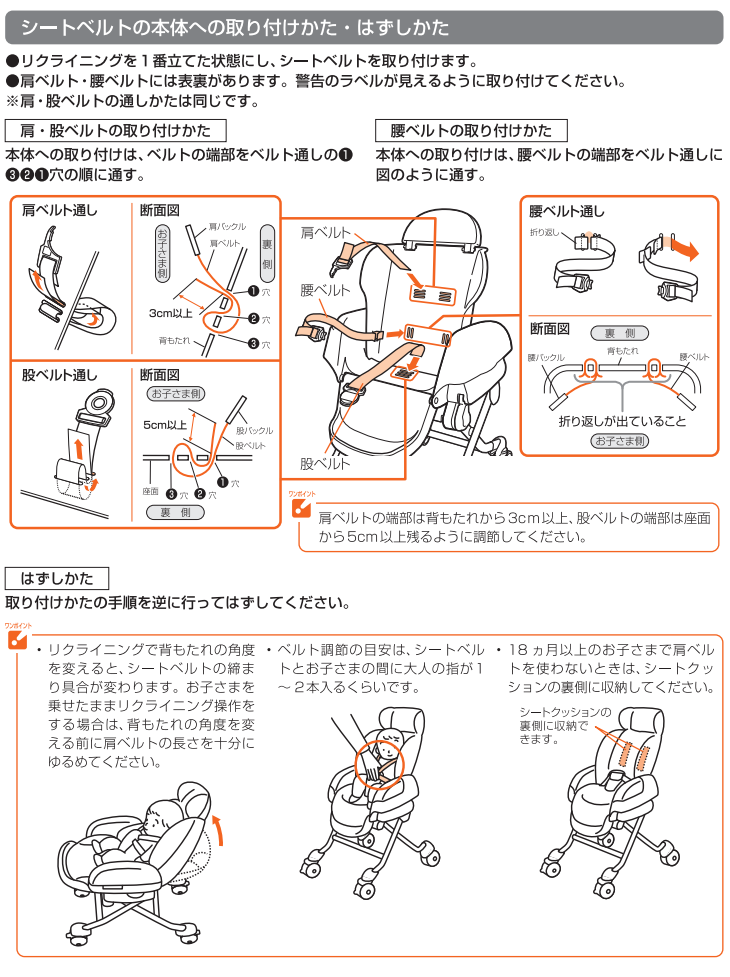
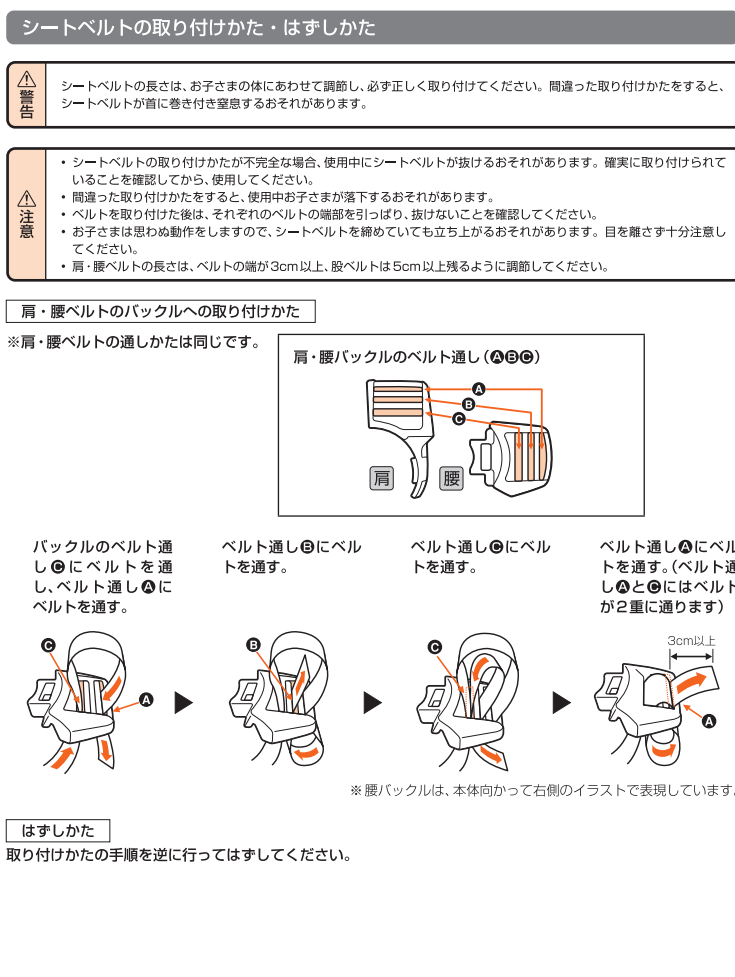
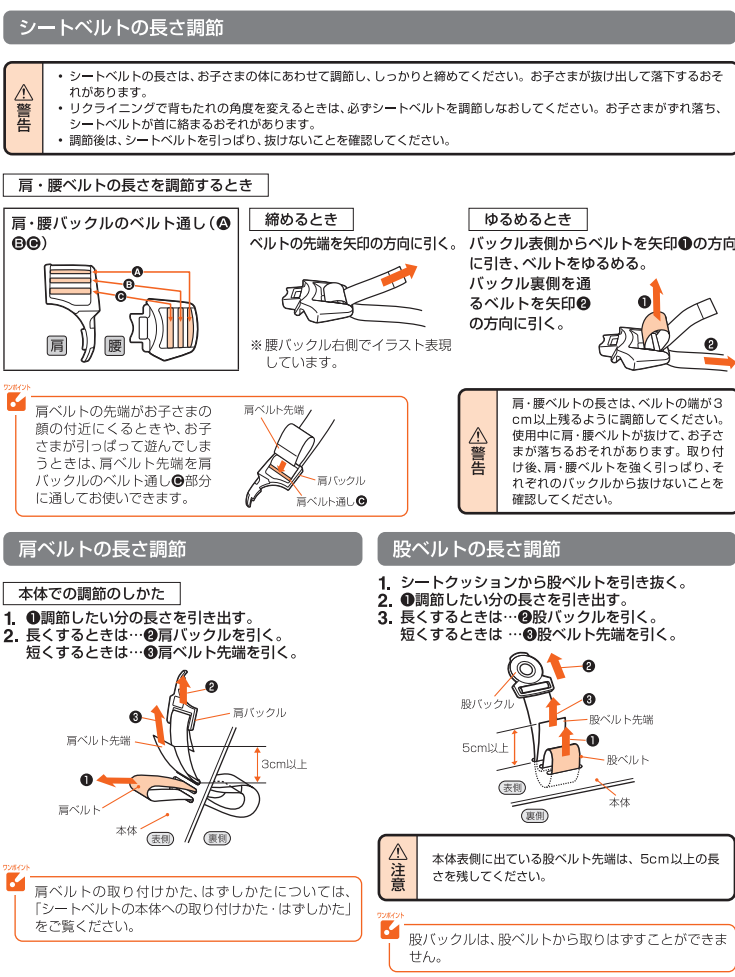
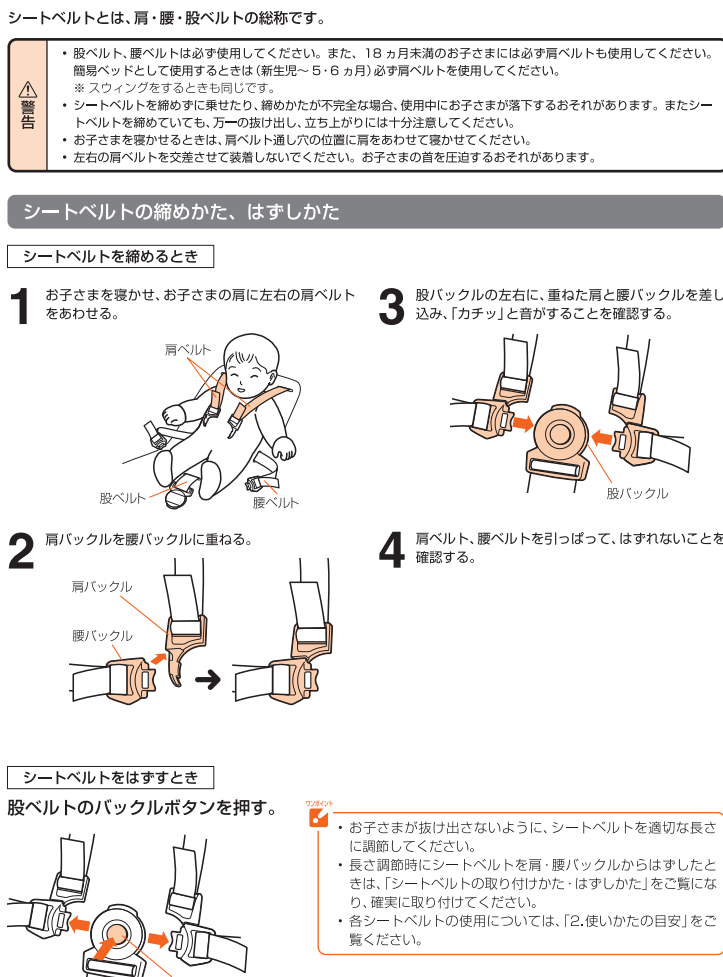
5. シートクッション、インナークッションの使いかた



6. 高さ調節の使いかた



7. シートベルト（肩・腰・股ベルト）の使いかた



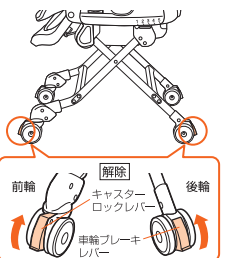
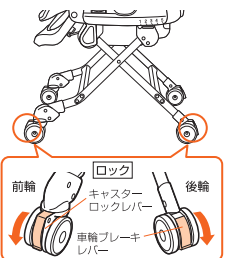
8.車輪ブレーキの使いかた

室内で向きを変えたり、移動するときに使います。

移動しないときは、必ず車輪をロックしてください。

車輪ストッパーとは、キャスターロックレバーと車輪ブレーキレバーの総称です。

△警告	移動するとき以外は、必ず車輪ストッパーを下げ、車輪ブレーキをロックしてください。ロックされていないとラックが転倒し、お子さまが落下するおそれがあります。
△注意	- ラックを移動させるときは横すべさせないでください。床面が滑つくおそれがあります。 - ラックを移動させるときは、スウィングをロックしてください。 - スウィングするときには、必ず車輪ブレーキをロックしてください。スムーズにスウィングできず、故障の原因となります。

車輪ブレーキを解除する場合 車輪ストッパーを上げ、ロックを解除する。 	車輪ブレーキをロックする場合 車輪ストッパーを下げ、ロックする。 
--	---

△注意 前輪キャスターは、上図のように外向きにしてロックします。(後輪は回転しません)

11.トレイの使いかた

本製品付属のテーブルにぴったり取り付けができるトレイです。はじめてご使用になる前に必ず洗浄してください。

△注意	- 電子レンジやオーブンは使用できません。 - 火のそばに置かないでください。変形・故障の原因になります。 - 高温の湯などを入れてはいけません。変形・故障の原因になります。 - 金属のスプーンやフォークなどの鋭いものや先端のとなったものなどですると表面が傷つくことがあります。 - 本製品は食器ではありません。直接食品を乗せて使用せず、食器に乗せて使用してください。
△注意	トレイを滑りやすいところで使用する場合は市販の滑り止めシートのご使用をおすすめします。
原料樹脂：ポリプロピレン／耐熱温度：140℃	

12.テーブルの使いかた

お子さまの成長にあわせて、前後方向に3段階の調節ができるテーブルです。

△注意	- 本テーブルは、お子さまの落下・抜け出しを完全に防ぐものではありません。必ずシートベルトを使用してください。 - 火のそばに置かないでください。変形・故障の原因になります。 - 高温の湯などを入れてはいけません。変形・故障の原因になります。 - テーブルの上に乗ったり、たいたりしないでください。落下するおそれやテーブル故障の原因となります。 - テーブルを調整する際、テーブル凸部と本体のすき間にお子さまの手などをはさまないようによく確認してください。ケガの原因となります。
△注意	- テーブル両側のテーブルロックレバーを、外側に引っ張る。 - 本体側面のテーブル差し込み溝に、テーブルをあわせて差し込む。 - 前後3段階からお子さまの体格にあわせて取り付ける。 - テーブルの高さを軽く前後に押して、抜けないことを確認する。
△注意	テーブルのすはすはした テーブル両側のテーブルロックレバーを外側に引っ張り、そのままテーブルを引き抜きます。 
△注意	テーブル差しの間、シートクッションやインナークッションがテーブル凸部に食い込み、操作しづらい時は、シートベルトを押さえ、動かしながら操作するようにしてください。

18.点検とアフターサービスについて

- ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。1ヵ所でも異常が見つかった際は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。
- 危険ですから、むやみに故障や修理はしないでください。
- 本製品の修理／部品販売は、原則として製品の製造中止から3年後までとなります。この期間内でも該当製品の在庫がなくなった場合、対応できないことがあります。また、色や仕様が若干異なる部品で対応させていただく場合もあります。あらかじめご了承ください。

コンシューマーブラザ (Customer Service Center) 〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271 TEL (048) 797-1000 FAX、(048) 798-6109	
(Customer Service Center)／西日本担当 〒540-0026 大阪府大阪市中央区区内本町2-4-16 オフィスポート内本町9階 TEL (06) 6942-0379 FAX、(06) 6942-0302	

19.スウィングベッド&チェアの「標準使用期間」について

スウィングベッド&チェアの「標準使用期間」は、「新規購入後6年」です。標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化より、本来の性能を果たせず危険をまねくおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。
●新機購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
●標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります。この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
●標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性的観点からお引き受けできません。
●使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

20.廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
- 地球環境のため、放置はしないでください。

SGマークの被害者救済制度	
SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。ハイローラックの場合は、お買い上げ日より4年以内が有効期間となります。	
●賠償についての注意 認定された製品そのものが故障したとしても、その賠償について保証するものではありません。あくまでも被害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。	●製品の欠陥により事故が起きた場合 損害を被った消費者（お子さまなどの場合は、保護者）が、事故発生日から60日以内に下記までご連絡願います。 一般財団法人 製品安全協会 東京都台東区竜泉2丁目20番2号 ミサケルーム33／輪名館 https://www.sg-mark.org/repair/v/ ●事故の届出に必要な項目 ①事故の原因となった製品製品 ・製品名称、SG番号 ・購入先、購入年月日 ②事故発生状況 ・事故発生年月日 ・事故発生場所 ・事故発生状況 ③被害の状況 ・被害者の氏名、年齢、性別、住所 ・被害の状況

9.リクライニングの使いかた

背もたれとステップが連動して動く、5段階のリクライニングです。

△お願い	生後2～3ヵ月までの首のすわっていないお子さまは、1番寝かせた状態で使用してください。
△警告	- リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節しておしてください。お子さまがずれ落ち、シートベルトが肩に絡まるおそれがあります。 - リクライニング操作は、必ずリクライニングレバーを持って行ってください。 - お子さまを乗せたままリクライニング操作をする場合、背もたれを倒す前に必ず肩ベルトの長さを十分にゆるめてください。リクライニング操作後はシートベルトを適切な長ささに調節してください。
△注意	- リクライニングの操作をするとき以外は、リクライニングロックでロックしてください。 - リクライニング操作で背もたれを寝かすと、連動してステップが前方方向に出ます。操作をする前に、前方に障害物のないことを確認してください。
1	背もたれの裏のリクライニングロックを目で、ロックを解除する。
2	リクライニングロックの凹みに親指を押しあてながら、リクライニングレバーを手前に引く。
3	背もたれを前後に動かして、使用する角度を選ぶ。
4	リクライニングロックを回してロックする。

13.収納レバーの使いかた

コンパクトなサイズにできます。

△警告	- お子さまを乗せたまま、収納レバーを操作しないでください。お子さまが落下するおそれがあります。 - 収納レバーの操作は、必ず保護者が行ってください。
△注意	- 収納状態では、使用しないでください。 - 収納レバーを操作してラックの高さを下げるときは、ラック本体と床面との間を足や指などをはさむおそれがあります。また車輪などが前後に移動しますので、足元にも注意してください。 - 収納した状態で移動しないでください。床面に滑がつくおそれがあります。 - 収納するとき以外は、収納レバーを使わないでください。

1	①リクライニングで背もたれの角度を1番寝かせた状態にする。
2	ステップを片手で持ち上げながら、収納レバーを片側ずつ、図の方向に回して解除する。
3	そのままゆっくりと下げる。

△注意 再度、ラックを使用するときは、左右のサイドガードにある高さ調節ボタンを押し、そのまま本体を持ち上げて、使用する高さにしてください。詳しくは「6.高さ調節の使いかた」をご覧ください。

10.スウィングの使いかた

スウィングするときは、必ず車輪ブレーキをロックしてください。

△警告	- 必ずシートベルトを締めてください。 - 揺籃ベッドとして使用するとき（リクライニング角度①と②）は、新生児～5・6ヵ月ころ（お子さまの衣服などを寝めた簡易揺籃は5kg、身長70cmまで）にのみ使ってください。 - 揺しくスウィングさせないでください。 - スウィングは保護者が行い、必ず付き添ってください。また、スウィング時間の目安は15分です。それ以上のスウィングは危険です。 - スウィングは揺籃ベッドのみの機能ですので、いずれのとき（リクライニング角度③④⑤）には使用しないでください。いずれのときにスウィングを使用した場合、手や足などをはさんだり、振り回るときに不安定になります。特にお子さまがふざけて使用した場合、転倒などのおそれがあります。 - お子さまがフラットのようにして置かれたとは認識せず、転倒や転落のおそれがあります。
△注意	- スウィングは水平な床で使用してください。(床が水平でない、スウィングが正常に動作しない場合があります) - お子さまを寝かせるときは、肩ベルトの差し穴の位置に肩をあわせて寝かせてください。 - 生後2～3ヵ月までの首のすわっていないお子さまを乗せてスウィングするときは、背もたれを1番寝かせた角度（リクライニング角度①）にしてください。背もたれを立てた状態でスウィングすると、お子さまが締めめりになり、頭がくらくなります。 - 寝転がった状態のお子さまには、スウィングを使用しないでください。ミルクを吐くことがあります。 - スウィングを使用するときは、お子さまの様子をよく見ていてください。異常が見られるときは、すぐに中止してください。 - スウィングにより本体が前後方向に動くことがあります。あらかじめ障害物のないことを確認してください。 - 本体が収納状態では、スウィングさせないでください。本体下部がすれて故障の原因となります。

ラックは段差などのない水平な床で使用してください。

※スウィングは、水平でない床や段差がある場所では正常に動作しないことがあります。

1	車輪ストッパーを下げて、4ヵ所すべての車輪ブレーキをロックする。
2	リクライニングで背もたれを寝かせた角度にする（リクライニング角度①または②）。

△注意	詳しくは「8.車輪ブレーキの使いかた」をご覧ください。
△注意	詳しくは「8.リクライニングの使いかた」をご覧ください。

14.スウィングベッド&チェア Q&A

正しく効果的にご使用いただき、お子さまとの楽しいひとときにお役立てください。

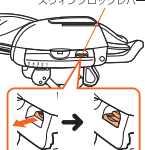
Q1 生後何月から使用できますか？	Q2 スウィングの時間は何分くらいが適当ですか？
新生児から使用できます。ただし、お子さまの首がすわるまでの2～3ヵ月までは、背もたれを1番寝かせた角度で使用してください。	お子さまが機嫌よく、心地よい表情でいられるかを目安にしてください。気持ちよさそうに寝たり抱かれたときはずっと止めないで、少し長くスウィングを続けてあげたほうがいいでしょう。10～15分くらいを目安に考えてください。
Q3 1日にどれくらい、使用しても大丈夫ですか？	Q4 スウィングさせるときは離座ゆらしかたはありますか？
お子さまを座らせておく時間は、1回30分から1時間くらいが適当です。お子さまが機嫌よくくりと寝びたいという時間が目安になります。必ずで書には、やはりお子さまの抱っこが1番です。スウィングに慣れるとよく寝ます。1日の使用時間は合計3～4時間が望ましいでしょう。スウィングしながらお子さまが眠った場合は、すぐにベッドやひんがんに移動させますことがありますので、よく寝ついたらから移してあげてください。	リクライニング角度④⑤にしてお子さまを寝かせ、椅子を揺らすやさしくスウィングしてあげることが最適切と考えるでしょう。揺らす量が眠ったときは、徐々にゆらしかたを小さくしてあげるようにしてください。

15.日常のお手入れのしかた

△注意	- 中性洗剤液でのお手入れや、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤でのお手入れはしないでください。本体を傷めるおそれがあります。 - お手入れの際に触るはずしない部品は、本番をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
△注意	本体、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトのお手入れ - 本体やテーブルが汚れたときは、濡れた中性洗剤液またはぬるま湯をやわらかい布に含ませて、ぬいでください。 - 車輪は、ほこりなどが付着するとすべりやすくなります。濡れた中性洗剤液をやわらかい布に含ませて、ぬいでください。 - 股ベルト（股パッドを付けたまま）、肩ベルト、腰ベルトは手洗いでください。 - 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。 シートクッションのお手入れ - シートクッションは取りはずして、シートクッションに縫製されている洗濯ラベルに従い洗濯してください。 - 洗濯機をご使用の際は、洗濯用ネットに入れて、洗濯してください。ほつれや破損の原因となります。 水、またはぬるま湯で洗濯機のぬみ水または手洗いでしてください。 - 漂白剤は使用しないでください。 - 衣類の類は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤、漂白入りの洗剤は肌荒れ、痒痒いなどおそれがありますので使用しないでください。 - 繊維洗濯機（洗濯機が横、または斜めを向いている）をご使用の場合は、水量が少なくなりすぎないように注意してください。 - 製品の特性上、色あせすることがあります。 - 色落ちすることもありますので、他の洗濯ものとは別に洗ってください。また、つけ置き洗いや漂白も避けてください。 - 洗分にすぎず、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。 - アイロンがけはしないでください。 - 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。 - 洗濯機を使用していただくため、こまめに洗濯することをおすすめします。

3 お子さまを寝かせて、シートベルトを装着する。

4 サイドガード下のスウィングロックレバーを引き出して、ロックを解除する。

△注意	スウィングロックレバー 
5	手で、背もたれをゆっくり押してスウィングさせる。

- お子さまを寝かせるとき**
肩ベルト差し穴の位置に肩をあわせ、座面中央の適切な位置に寝かせてください。
- スウィングを使用しないとき**
スウィングロックレバーを押し込み、スウィングをロックしてください。

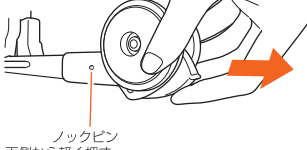
△警告	スウィングロックレバー 
△注意	スウィングロックレバー 

16.保管のしかた

- 直射日光を避け、湿気が少なく、雨やほこりがかからない場所に保管してください。

△注意	火の近くなど、高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
△警告	本体を取り出す際、お子さまが隠れていることを確認してください。
△注意	- 車輪を付け間違えた時以外、取りはずすは行わないでください。 - 車輪を取りはずす際、指をはさまないように注意してください。 - 突起物などでノックピンを押しこまないでください。 - 車輪の付着には1ヶ所づつってください。 - 万が一ノックピンがはすれてしまった場合は、「18.点検とアフターサービスについて」に記載のコンシューマーブラザまでお問い合わせください。

1	ノックピンを両側から軽く指で押しながら、車輪を矢印の方向に引っ張り車輪をはずす。
2	- 車輪のストッパーがラック上側に来るように車輪を持つ。 - ノックピンを両側から軽く押しながら、カチッと音がるまで車輪を差し込む。 - 車輪を引っ張り、はずれないことを確認する。

△注意	ノックピン 両側から軽く押す。 
○	ストッパーが上側にある
×	ストッパーが床面に触れている